

新着資料案内

【6/26～7/21新着分】

分類	書名	著者名・出演者名	出版社	所蔵館
《旅行》				
291-シ	首都圏発おいしい道の駅ドライブ [2016]		昭文社	本館
《社会科学》				
312-七	田中角栄を葬ったのは誰だ	平野 貞夫 著	K&Kプレス	本館
318-ソ	「地方創生」へのまちづくり・ひとづくり	袖井 孝子 編著 佐藤 滋 [ほか] 著	ミネルヴァ書房	本館
336-フ	職場がイキイキと動き出す課長の「ほめ方」の教科書	船見 敏子 著	左右社	本館
375-ヤ	なぜ「教えない授業」が学力を伸ばすのか	山本 崇雄 著	日経BP社	本館
《医学》				
493-ス	100歳まで歩ける!「体芯力」体操	鈴木 亮司 著	青春出版社	分室
498-モ	ガンにも効く食べかた 森下流驚きの自然医食療法	森下 敬一 著	メトロポリタンプレス	本館
《家庭》				
593-カ	かんたん大人の夏のワンピース チュニックトップス		ブティック社	本館
593-ヨ	体型も年齢も気にならない!おしゃれソーイング	吉田 直美 著	文化学園文化出版局	本館
596-フ	藤井恵私の好きな薬味たっぷりレシピ みょうが、しょうが、にんにく、青じそ...	藤井 恵 著	家の光協会	分室
《文学》				
F-ア	帰郷	浅田 次郎 著	集英社	本館
F-コ	ジャッジメント	小林 由香 著	双葉社	分室
F-シ	記憶の渚にて	白石 一文 著	KADOKAWA	本館
F-ミ	スタフ	道尾 秀介 著	文藝春秋	本館
F-ミ	ぬるま湯女子会、38度 ととききちよと熱	南 綾子 著	双葉社	分室
914-ア	老いてますます明るい不良	嵐山 光三郎 著	新講社	本館
《児童書》				
K-289-ハ	大村智ものがたり 苦しい道こそ楽しい人	馬場 錬成 著	毎日新聞出版	本館・分室
K-291-オ	ここで土になる	大西 暢夫 著	アリス館	本館・分室
K-486-シ	アリとくらすむし	島田 たく 写真・文	ポプラ社	本館・分室
K-933-ハ	モンスーンの贈りもの	ミタリ・パーキンス 作 永瀬 比奈 訳	鈴木出版	分室
K-F-ハ	せなかのともだち	萩原 弓佳 作 洞野 志保 絵	PHP研究所	本館
K-F-ホ	クレヨン色の村のひみつ	本多 菜緒 作 フクモト ミホ 絵	文芸社	分室
K-F-ミ	逆転ドッジボール	三輪 裕子 作 石山 さやか 絵	あかね書房	分室
《絵本・紙芝居》				
E-オ	ジャック船長とちびっこかいぞく	ピーター・ベントリー 文 ヘレン・オクセンバリー 絵 やました はるお 訳	BL出版	本館
E-オ	ボタンちゃん	小川 洋子 作 岡田 千晶 絵	PHP研究所	分室
P-フ	きんいろのさかな	ブーシキン 原作 堀尾 青史 脚本	童心社	本館
《DVD》				
邦画	小野寺の弟・小野寺の姉	西田 征史 監督 向井 理 ほか出演	ポニーキャニオン	本館
邦画	わが心の銀河鉄道 宮沢賢治物語	大森 一樹 監督 緒形 直人 ほか出演	東映ビデオ	本館
アニメ	やさしいライオン	やなせ たかし 演出・美術・原作	手塚プロダクション	本館

【図書館カレンダー】

8 月							9 月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	

開館時間	本館 10:00～18:00 8月はサマータイム! 水・木 1時間延長→19:00まで 土・日 30分早く開館→9:30から
休館日	分室 9:00～17:00 本館 毎週月曜日・第3金曜日 文化センター分室 毎週火曜日 ※祝日と重なった場合は開館し、翌日が休館となります。 ★9月11日は文化講演会のため分室は休館となります。

Special Thanks

今月号も、図書館だよりの編集に協力していただきました。
新井 陽子さん
出浦 ゆみさん
大変お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

【編集後記】 今回の1面は雑誌でよくある「インタビュー風」です。お二人から本の紹介をしていただき、それにまつわる楽しいお話も聞くことができました。図書館便利は、町内で配られるのはもちろん、実は県内の図書館にも1部ずつ配布しています! 埼玉のあちこちに発信していると思うと、編集後記も、お二人に倣ってもうちょっと蘊蓄のある文を書きたい...なあ。<Ko～Ki>



図書館だよりの

No.16
平成28年
8月号

発行・編集：小鹿野町立図書館

〒368-0201 小鹿野町両神薄2713-1 両神ふるさと総合会館2階

TEL：0494-79-0150 FAX：0494-72-3206

E-mail：tosyokan@town.ogano.lg.jp

HP：https://www.town.ogano.lg.jp/kakuka/tosyokan/tosyokantop.html

図書館Webサイトには
こちらのQRコードからも
アクセスできます!



この本が The interview おもしろい!

利用者さんにききました!
オススメの本
選んでください!

今月号は、町民の方にご登場いただきました。

図書館のヘビーユーザーのお二人です。「町民の 町民による 町民のための図書館便り!」を目指し、このような記事も増やしていきますので、どしどしご応募ください。自薦他薦を問いません。

オススメは、
「カムイ伝」全15巻
白土三平 著
小学館



山中 正彦さん
やまびこ企画主宰

まず、山で暮らし、山の技術を伝承する山中正彦さん(両神 滝前在住)です。

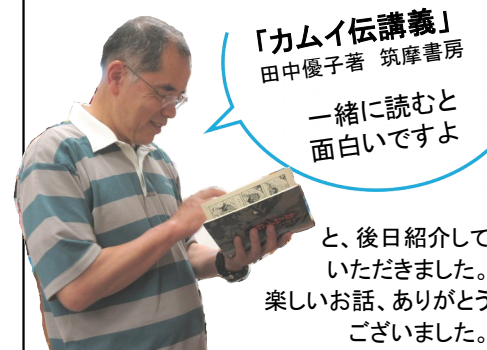
この本のどこが好きなんですか?
の物語、というより、何といても自然物の描写が素晴らしい。食物連鎖や生技術など今に通じるものが丁寧に書かれている所かな。

何歳の頃、読んでいたんですか?
生だったと思います。当時はマンガとえ激しい忍者の世界に憧れました。ジャッキー・チェンの映画のように動きが速くて、テンポがいいんです。余談ですけど、カムイ伝が出た時に欲しいけど買ってもらえなくて、友だちから借りて1巻全部書き写したことがありますよ。

——ええ——書き写した? 全部? 昔の武士みたいですね。
当時は絵が上手かったんだいね。漫画家のアシスタントもできたかも。(笑)

——山中さんは、山で暮らし、山の技術を伝承する山中正彦さん(両神 滝前在住)です。直接は何を真似るとか、参考にしているということはないですが、こういう生き方の下地に影響はしているかもしれないです。子供心に相当感銘を受けましたから。

——この本からのメッセージを何か教えてください。
忍者の生き方って、「どんなことをしてでも生き延びる」ってことですね。これは学ぶべきじゃあねえかな。ちっとぐらい嫌なことがあっても命を粗末にしちゃあだめだな、と思いますね。



「カムイ伝講義」
田中優子著 筑摩書房
一緒に読むと面白いですよ

と、後日紹介していただきました。
楽しいお話、ありがとうございました。

お二人目は、町の図書館協議会委員長もお引き受けいただいている黒田洋子さん(三田川 飯田在住)です。

——オススメの本を教えてください。
最近ハマっているのは、江戸のお話。江戸の人情、人の優しさに引き込まれます。この頃はあさのあつこさんをよく読みます。

——江戸のお話に惹かれるのはどんなところにですか。
あまり意識したことはないけれど、やはり長く続いた太平の時代に、ゆったりした人間の営みが似合うのかしら。読んでいて安心というか、優しい気持ちでいられるところでしょうか。

読みたい本がたくさん!
でも夜は眠らなっちゃうの。

——あさのあつこさんは児童書や、YAの作品も多いですね。

そうですね。『バッテリー』もとっても面白かったです。小学校高学年や中学生にもお奨めですね。野球をやっている人は、特に楽しめるかもしれませんね。全6巻で少しボリュームがあるけど、読み出したら止まらないですよ。「もう一巻あれかし」「かわうそ」は大人のひとにお勧めです。

——小学校の先生だった黒田さん、学校でも図書担当でしたか?

はい。学校の図書室改革もやりました。その頃に比べると、学校の図書室はずいぶん変わりましたね。でも、本が好きなお子どたちの目の輝きは同じ。もっともっと良い本にであって、読書を楽しんでほしいですね。大人も、子どもも、図書館へ行きましょう!

オススメは、
「かわうそ」
あさのあつこ著
祥伝社



黒田 洋子さん
図書館協議会委員長

ご協力ありがとうございました!

秩父を知るなら、
これこれ!
これ読もう!



山里的記憶①～④

黒沢和義 著
同時代社

山里的笑顔と
味と技を記録した
三十五の物語

秩父の山里に暮らす人々の技や心を紹介するルポタージュ型絵物語。著者の黒沢和義さんは小鹿野町出身。秩父には、暮らしの「技」が今でもたくさん残っていて、人の手と、笑顔と、温もりとともに丁寧に取材して書かれた画と文章は限りなく優しい。

～ごく普通の人びとの暮らしと技。隣のおじいちゃんやおばあちゃんのことを描くように山里の暮らしを描きたい。そして、「私達はあなたのことをずっと記憶していますよ」とエールを送りたい。～

「はじめに」より抜粋。



古き良きを知る
貴重な一冊

りょうかみ双書 1
年中行事

両神村役場

今も続く両神の文化

昭和61年編纂。古くから継承されてきた年中行事を写真とともに解説。30年前には、こんな暮らしがあったんだ!今でも残るちょっとした風習も、こんなルーツがあったのね!懐かしいと感じるか、新しいと感じるか、それは読者のみなさんに委ねるとして…。毎年繰り返される年中行事には、人びとの素朴な暮らしと自然との調和が現れ、先人の生き様を垣間見ることができる。正月の準備から一年を通して行われる年中行事の多さにも舌を巻く。静かに流れる豊かな暮らしがそこにある。



ふる里小鹿野
いろいろ話

小鹿野町
あかまんま双書2

小鹿野町で語り継がれる
民話の数々

平成6年3月発行。小鹿野の各地に残る民話を23編収録した民話集。小鹿野の昔話、聞いたことがありますか?この本の最大の特徴は、その民話がすべて小鹿野の方で綴られていること!! 囲炉裏ばたで語られる古き良き時代を体感することができるんです。町内の各地にまつわる民話を読み返すことで、小鹿野の歴史も振り返ることができる。歴史も! 方言も! 間違いなく現代に繋ぐたい貴重な文化である。両神の民話は「りょうかみ双書4昔がたり」に詳しい。



埼玉・大地のふしぎ
県立自然史博物館
埼玉新聞社

宮沢賢治も愛した
秩父の大地の生い立ち

H23年に日本ジオパークに認定された秩父地域。もともと「日本の地質学発祥の地」として有名で、宮沢賢治も農林学校生の時、地質の調査に秩父を訪れています。そんな秩父の「大地」を知るなら、長瀬の自然史博物館(現・自然の博物館)が出したこの本がお奨めです。太古の昔、秩父に広がっていた海。その痕跡が秩父のあちこちで見ることができます。



今年3月には、古秩父湾が国天然記念物に指定され、自然の博物館から「古秩父湾」という解説書が出ています。こちら図書館にもありますよ。

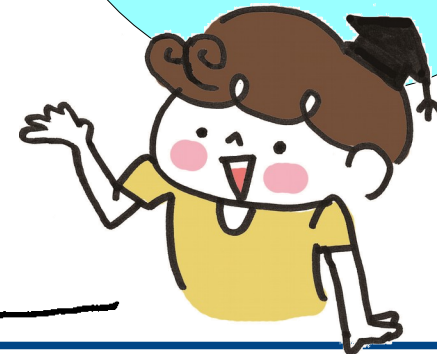


保存版
ふるさと秩父

郷土出版社

語り伝えたい
秩父の暮らし
の写真集

生活感あふれる400余枚の貴重な写真と詳しい解説でつづる秩父のあゆみ。懐かしい! 秩父が愛おしい! 親から子へ子から孫へ語り伝えたいふるさと秩父の姿が満載です。写っている服装や髪型、町の様子、道具や自動車、あれもこれもが「あー、こんなんだったな」「そうそう、こうだったな」会話が弾むこと間違いなし!



本々秩父を花見すべし!
...の巻。



Information

図書館からの
お知らせ

OGANO Public Library 2016

ペーパーウェイト大作戦

川原の石ころに、絵の具でペタペタ...
なんと! ペーパーウェイトに大変身。

8月21日(日)13:30～15:00

- 定員 15人 / 小学生～中学生
- ふるさと総合会館調理室
- 講師 田島しょうせんさん
- 費用 200円

低学年は
保護者
同伴

調べる学習や、読書感想文の
まとめをしよう!

8月

23
【火】

24
【水】

25
【木】

26
【金】

13:30～17:30
電話でお申し込み
ください

調べる学習相談会

読書感想文
相談会



ブックス
チャレンジ

両神ふるさと総合会館
2F 視聴覚室
H27.H26
8月生まれ
17日(水) 10:30

ブック
スタート

児童館
H28
2月生まれ
30日(火) 13:00

本館の開館時間変更

8月も継続中です!

水・木

18:00まで→19:00まで

土・日

10:00から→9:30から

8月の
おはなし会
は
おやすみです

移動図書館も
お休みです。

